

- ① せんとのけいがぎょうじに参加するため、にちぼつ前にひこうきにとうじょうした。
- ② しつれんをうらみ、起きたさんげきは、きよえいしんによるものだった。
- ③ ゆうれいをじょうかして、こらしめるきかいをれいさいきぎょうがかいはつした。
- ④ たにんをばいたいにじかいのねんを持つことがかんじんだとする考えにはくしゅが送られた。
- ⑤ かまもとでのさぎょうはちっそをいかにせいぎよするかが大切だ。
- ⑥ ぞうすいにからめたさけるチーズとぶたにくを出す店に、すずなりの客が入っている。
- ⑦ さいばんしょにかんもんされてだんがいされたえいゆうは、悲しみをまぎらわすために、力をふういんした。
- ⑧ じしんのひがいを受け、ひなんばしょのしえんに力をつくしている人を書いたげんこうをほんやくした。
- ⑨ こうがいにふにんすることになり、いかりくるたが、ゆいつのすくいはまぼろしに終わったことだ。
- ⑩ しょうがくきんをもらえたことで、勉強にはげむことをまんきつしたので、こうきをいっしなかった。
- ⑪ せいきよしたおんしに、せいぜんふへんてきな教えでいっかつされた。

- ① むらさきいろのけいこうとうの光を浴びたすうひきの虫がしもばしらの上を歩いている。
- ② つなみのため、川がはんらんし、せんぱくが打ち上げられたり、魚のあみがこわれたりした。
- ③ しっぷうのようなしゅんそくの持ち主は、けんの使い手をかねていた。
- ④ ぜひ、こうていてきに受け止めて欲しいとふししょうじのあった会社の社長がかたいひょうじょうで語った。
- ⑤ そのえいがで、かいりきの持ち主がけんぎのうずにあたというきやくほんはあつかわれなかった。
- ⑥ たぼうの中、せんかで死んだめすのゾウをとむらった。
- ⑦ じよやのかねが鳴る中、ひろうえんでだいたんないししょうを着たがはくがひがさをさしてとうじょうした。
- ⑧ さんがくちたいでは、かみなりやきりが多くてそうなんする人がいる。
- ⑨ うるわしい人が描かれているしょうぞうがは、だきょうをしていないしゅうさくだ。
- ⑩ 太郎は、かんじょうを払わずにとうそうしたが、さびしい風にふかれて、とつぜん、あわてた。
- ⑪ 新しいちつじよをじんそくにつくるべきだというとくがくのしは、もうげんとしてかたづけられた。

- ① こうきしんからおぼんのじきにれいぼうを使わずにいくにちか過ぎしてみた。
- ② いだいなちようばのせんしゅだったが、あらいえんぎでおしくもよせんおちしてしまった。
- ③ いせいしゃはらいひんのために、けんいあるぎしきをとりおこなった。
- ④ ごうかいなせいじかは、考えのじくをまげずに、自分のしゅちようをつらぬいた。
- ⑤ ダイヤモンドのかたまりのりゅうしをみがくさぎようは、こんながともなう。
- ⑥ かんそうしたかみの毛を水にひたすと、なぜか水がこんいろになった。
- ⑦ りようりの本にとうがらしのつけ物のしかたについて、ていせいがそうにゆうされていた。
- ⑧ えんぴつの字がつかたないのは、かたに力が入り、ていねいに書いていないからだ。
- ⑨ すいそうの中におうとつのあるきよだいなしんじゅがある。
- ⑩ どうりようの華やかなかつやくに、こえをからしておうえんした。
- ⑪ ふんかのため、こわくてねむれずにといきをついた。

- ① まさつで、やなぎの木からけむりが出た。
- ② 小さいせんしゅがきびんな動きでわんりよくの強いきよだいな選手をじゅうよくごうをせいした。
- ③ しょくたくにつつてきた魚のあげ物が出てきたが、おがこげていた。
- ④ ゆうづうのきかないがんこものは顔をふせてかんじょうをおさえていた。
- ⑤ おうさまのふんぼをくだくのは、いっぱんてきにはじきしょうそうとかんがえられている。
- ⑥ ひあいのかんじょうがつまった彼のおどりに、かんきやくがいつせいにはくしゅした。
- ⑦ くじらのぶんびぶつからつくったといういつわりのほうこうざいがでまわっている。
- ⑧ 何のへんてつもないはだぎだが、とくしゅなほうごうがほどこされている。
- ⑨ じょうだんで、どのさまのかっこうをしてぶたいに出たら、かんきやくにふんがいされた。
- ⑩ ぬまやわんにだくすいがそそぎ込み、かんきょうもんだいがあんしょうに乗り上げた。
- ⑪ うかがうはきくのけんじょうごである。

- ① じごくのようなたんこうでうえにくるしんでいる人の話は聞くにたえない。
- ② まきのためにぼうだいのばっさいされた木がはんしゅつされずに、とうきされている。
- ③ かいぼうする前にがっしょうしないとふきつなことが起こるといふ天からけいじがあった。
- ④ こぶねの上のおおぎのまとをりくのじんちからやで打ちぬいた時によまれたわかがある。
- ⑤ おろかなせいじのへいがいで、けいむしよはすでにいっばいだ。
- ⑥ ちんれつしてあったげんがつきをしゅうねんで手に入れた。
- ⑦ あたらしいたくじしよについてのしゅしをさけびながらしゅちょうして、りょうしよをえた。
- ⑧ へいぼんな日々から抜け出すために、ほせんをつくり、ことうをめざすことをちかった。
- ⑨ めいじじだいからそせいがかへいでおさめられるようになり、のうみんのていこうがひんぱんに起こった。
- ⑩ だんノウラのたたかいでは、げんじのしゅうりをいのるふんいきでみちていた。
- ⑪ ぎせいになった人をいたみ、いかんの意をひょうめいする。

- ① いしよくされた仕事をそしされたため、彼のひょうじょうにはあいしゅうとかいこんの念がうかんだ。
- ② きんぱいをちゅうぞうする際にはいしゅつされるしぶいえきたいがもんだいとなった。
- ③ じょうかくのしばの上に、鳥がつばさを広げてとんでいて、じょうちよがあるけしきだ。
- ④ きしは、馬のてづなを引き、とつじよ、たいきやくを始めた。
- ⑤ てんじょうとだんろのもんしょうはいっちしている。
- ⑥ じょうやくがていけつされたあかつきにはぞくじからかいほうされ、ゆうぜんとした国になるだろう。
- ⑦ さいばいではどじょうをいかにやわらかくするかがじゅうようだ。
- ⑧ えどじだい、はんのめいれいにより、さいきんをじょうぞうしていたしんりよう所があった。
- ⑨ ごらくとふくしのきんこうを保つためにこうしょうがつづけられた。
- ⑩ たいこくのきょういによりしゅけんをしんがいされ、せいふくされたことにふんがいているこっかは多い。
- ⑪ はばつで作られたせいけんは、さじょうのろうかくであり、よつゆのようにきえていく。

- ① どうぎゅうをようごする人もいれば、やひでみにくいものとする人もいる。
- ② にぶい者はへんけんにみちており、かしこい者はそれをうれいている。
- ③ きょうらくをさけ、そぼくでりんりかんの強い人がしもんいんかいのメンバーにふさわしい。
- ④ かぜかおる五月、このけんについて、つつしんでかいたくいたします。
- ⑤ このむらのちょうじゅの者は、若いときにきたえていたので、おとろえをしらない。
- ⑥ きょうらんする者がいっぼう、ぼうかんする者もいた。
- ⑦ かんりはいっすいもできないままりょうていにとうちやくした。
- ⑧ しゆくえんではなむことはなよめがしょうがいのないのあいをちかった。
- ⑨ そのねこはかんだいなべんぎによりこうそくをまぬがれた。
- ⑩ さんぞくにしはられ、なぐられ、またはしいたげられたがだんこお金を出すことをきよひした。

- ① しげっているくさをかり、くふうをこらしてしきぶとんにした。
- ② かかんにかいたくしたえいよをたたえ、どうくつの前にきねんひがたてられた。
- ③ しめってすべりやすいところに、かせんのぬのをしいた。
- ④ そのばいしんいんは、しょうぎでもさすかのように、人のじんせいのきをかんたんにきめた。
- ⑤ みさきの上のおかは、ねばりづよく作られたていぼうにはさまれている。
- ⑥ しんろうはいもの酒でよっぱらい、はだかはどうあげされていた。
- ⑦ ほうしゅうをえるためには、おこたることなくじゅうじつしたしごとをすることだ。
- ⑧ しっきやとうきには、しよくにんのこうきゅうてきなぎじゅつがふくまれている。
- ⑨ あくまをあざむくせんたくしはのこっていない。
- ⑩ ついにかもくな人のしんずいがそうかつされた。